



うち ごとく

家読のススメ NO.3

『家読ノート』から…



「第1回家読(うちごとく)強化週間」7月20日(土)～7月31日(水)を終えて

8月1日の登校日に「家読ノート」を提出していただきました。家族のみなさま、ご協力ありがとうございました。お忙しい中、10日間という短い間に1冊読むのは大変だったのではないのでしょうか。感想を見ると、お母さん、お父さんだけでなく、お姉さんや弟、おばさんまでが書いてくれているおうちや、1冊だけでなく何冊も本を読んで、感想をいくつも書いてくれた生徒やお母さん、記入枠に入りきらないくらいたくさん感想を書いてくれた生徒やお母さんが何人もいました。ありがとうございます。読書を通して「家族のコミュニケーション」を深めることができたのではと思います。

『家読』とは、家族で同じ本を読み、読んだ本の感想を話し合うことで「家族のコミュニケーションをさらに深めよう」という取組です。しかし、昨年度から家族で違う本を読み、互いに読んだ本を紹介し合うこともOKとしました。生徒からすると、保護者の方がどのような本に興味があるのか知ることができ、保護者の方からすると自分が読んだ本を子どもに薦めることができるという効果があったようです。『家庭の読書で育つ力』の『17の効果』は生徒だけではなく、保護者を含めた家族全員にもたらされるものです。ぜひ、趣旨をご理解のうえ、これからもご協力よろしくをお願いします。

今回の「家読ノート」を読ませてもらって以下のことが気になりましたので、挙げておきます。

- 1、1冊につき、1枚をご使用ください(家族で違う本を読んだ場合は2枚使用)。
- 2、作者・出版社名も書いて下さい(こちらで調べるのが大変)。
- 3、「家読ノート」へは自分の気持ちを書こう…あらすじだけを書いている人がいました。また、「～がすごかった」の一言で終わっている人もいたので、もう少し頑張りましょう。
- 4、読書ができる環境をつくろう…「9時から30分間家族で読書しよう。」「テレビやスマホ・ゲームの時間の制限」など、期間中だけのルールをつくって家族みんなで協力しよう。

次回の第2回家読強化週間は、10月27日(日)～11月9日(土)の読書週間の期間になります。美中フェスティバルが25日(金)にあります。行事が終わりゆっくりと「読書の秋」を満喫できるのかなと思います。ただ、学期の途中になるので、提出日直前に慌てて1冊読もうとするのは家読の趣旨とは違いますし、1日に何時間も読む時間を作るのも難しいかと思います。早いうちから少しずつ読んで家読強化週間くらいに読み終わるようにするのがよいかもしれません。おうちの方もお薦めの本があれば早いうちに紹介してあげて下さい。「心に響く小さな5つの物語」のように、1冊に短い話が入っている中の1つを選んで構いません。時間があまりないという方はそういうジャンルから選んでみてはどうでしょうか。『宿題』という感覚ではなく、『家読』の趣旨にありますように、読書を通して家族とのコミュニケーションを育んでいってもらえればと思います。そして、強化週間だけでなく、ご家庭で子どもと一緒に本を読む時間を持ち、子どもたちとの楽しいひとときを過ごしていただき、子どもたちの新しい一面を発見していただけたらうれしく思います。

1年に3回の「家読強化週間」

2回目は、10月27日(日)～11月9日(土)の



です。

家読ノート提出は11月11日(月)とします。

第1回家読強化週間で読まれた本 & 感想

家読で読んだ本の題名
ねこの駅長 たま
作者 小嶋 光信
出版社 角川つばさ文庫

読んだ人 自分 読み終わった日 7/29
好きな登場人物 たま
感想 僕はこの本を読んで、たまはずこい猫だな～と思いました。ぜひこの本を読んでみてください。

読んだ人 母 読み終わった日 7/30
好きな登場人物 たま、社長
感想 同じ和歌山県内の出来事で、“ねこの駅長”が誕生したことを嬉しく思っています。何回か「たま電車」にも乗っているし、乗っている人達が皆、笑顔だったのも印象に残っています。2代目駅長たまも頑張っって欲しいです。陰ながら応援しています。

家読で読んだ本の題名
高野山の案内犬ゴン
作者 関 朝之
出版社 ハート出版

読んだ人 自分 読み終わった日 7/21
好きな登場人物 ゴン
感想 この本を読んでぼくは、ゴンが何も見返りを求めずに毎日20kmもの道のりを案内していたことが心に残っているし、見習いたいと思った。



読んだ人 母 読み終わった日 7/30
好きな登場人物 ゴン、ゴンを取り巻く全ての人
感想 ゴンはその存在だけで人々に安心、癒やす力を持っているのがすごいと思いました。自分の役目、すべき事をわかっていて、まるで高野山のそして弘法大師さんの遣いのような存在だと思いました。自分が今まわりのみんなのために何ができるか、もう1度考えようと思うきっかけになった1冊でした。

家読で読んだ本の題名
行きたくない
作者 加藤ガ 円他5名
出版社 角川文庫

読んだ人 自分 読み終わった日 7/31
感想 いろいろな登場人物の「行きたくない」という感情からさまざまな展開に広がっていくのがおもしろかったです。

読んだ人 姉 読み終わった日 7/26
好きな登場人物 特になし
感想 “行きたくない”という日常的に感じる思いをテーマに6人の作家さんが各々の角度や切り口で書き下ろした短編集です。日常的、非日常的な場面でひろげられた“行きたくない”は分かるかも…と思ってしまうたり、しまわなかったり。読みやすく、お徳感のある一冊です。

家読で読んだ本の題名
蜘蛛の糸・杜子春
作者 芥川 龍之介
出版社 新潮文庫

家読で読んだ本の題名
たたられる本
作者 中村まさみ
出版社 フェア文庫

家読で読んだ本の題名
二十四の瞳
作者 壺井 栄
出版社 岩波文庫



読んだ人 自分 読み終わった日 7/23
感想 この話はいくつもの作品集でとても読みやすかった。この本を読むと自分の気持ちや行動が変わると思いました。

読んだ人 自分 読み終わった日 7/20
好きな登場人物 中村まさみ
感想 めちゃくちゃ本格的に恐怖を感じる一冊です。短編集なのですが、実際にあった話なのでよけリアルです。

読んだ人 母 読み終わった日 7/31
好きな登場人物 大石先生
感想 読み終えて筆者の強烈な意志と、信じる、見つめる、信念を感じました。ラストはなんとも言えない悲しい場面が印象に残っています。なぜ、そんな悲しい話をわざわざ書いたのかと思いました。人間の現実しか書かれていないこの作品から書くことのできなかった作者の「理想」を感じました。

～先生たちの家読感想より～

家読で読んだ本の題名
受験のシンデレラ
作者 和田 秀樹
出版社 小学館文庫

読んだ人 自分 読み終わった日 7/28 好きな登場人物 五十嵐
感想 がんで余命1年半と宣告された五十嵐が、高校中退の少女を東京大学に合格させるためにあらゆる受験テクニックを使い計画的に少女の成績を上げていく。弱っていく身体と戦い、少女を合格させるために余命をかける姿に感動した。受験テクニックがあらゆる場面で紹介されていて高校生が読むと参考になるのかも。

家読で読んだ本の題名
こわいもの知らずの
病理学講義
作者 仲野 徹
出版社 晶文社

読んだ人 自分 読み終わった日 7/31
感想 生涯でがんになる確率は男性で61.8%女子で46.0%。がんになるかどうかは、運であって何をしても避けられない。その中でもリスクを回避できるがんもあり、その一つがヒトパピローマウイルスによる子宮頸がん。娘2人にはワクチンを打たせたけれど中高生の女子のいる家庭では、話してみるとよいと思った。

同じ本を読んだ家族が12家族、違う本を選んで読んだのが8家族でした。

1年全員の家族の方から感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。読書がみなさんの日頃の習慣になればいいなと思っています。今後ともよろしくお願い致します。